

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年11月28日

計画の名称	碧南市における公共下水道の普及促進													
計画の期間	令和 0 7 年度 ~ 令和 1 0 年度 (4年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	碧南市													
計画の目標	公共下水道の環境基盤整備の推進を図り、快適な生活環境の実現を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		1,005	A	1,005	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R7当初）	（R9末）	（R10末）
1	総人口に対して公共下水道を利用できる人口の割合（公共下水道処理人口普及率）を92.8%（R7当初）から97.5%（R10末）に増加 総人口に対して公共下水道を利用できる人口の割合（公共下水道処理人口普及率）を算出する。 公共下水道処理人口普及率（%）＝公共下水道処理区域内人口（人）/行政人口（人）	92%	95%	97%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 污水）	新設	松本伏見屋処理分区公共 下水道整備事業（未普及 ）	管渠 L=5,500m	碧南市						728		-
		重点アクションプラン																	
	A07-002	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 污水）	新設	大浜権現処理分区公共下 水道整備事業（未普及）	管渠 L=500m	碧南市						22		-
	A07-003	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 污水）	新設	千福第 1 処理分区公共下 水道整備事業（未普及）	管渠 L=700m	碧南市						120		-
		重点アクションプラン																	
	A07-004	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 污水）	新設	千福第 2 処理分区公共下 水道整備事業（未普及）	管渠 L=3,400m	碧南市						50		-
		重点アクションプラン																	
	A07-005	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 污水）	新設	西山第 1 処理分区公共下 水道整備事業（未普及）	管渠 L=540m	碧南市						60		-
	A07-006	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 污水）	新設	西山第 4 処理分区公共下 水道整備事業（未普及）	管渠 L=230m	碧南市						25		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						1,005		
											合計						1,005		

事前評価チェックシート

計画の名称： 碧南市における公共下水道の普及促進

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画と適合している。上位計画（知多湾等流域別下水道整備総合計画、全県域污水適正処理構想）	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 衣浦東部流域下水道事業計画、碧南市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 3) 各種事業計画が策定され、適合している。各種事業計画（重点アクションプラン）	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 4) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

[illegible]